

令和2年度 認定こども園 神戸鹿の子幼稚園 学校評価

1. 本園の教育理念および教育目標

【教育理念】

「和」の心を持ち、「努力」を重ね、「夢に向かう力を羽包む

【教育目標】

健康な体をつくり、情緒ゆたかにして積極性のある行動力を育て、
心身共に健やかで社会に適応できる子どもの育成に努めます。

2. 重点的に取り組む目標・計画

1. 園児が主体的に活動できる環境の整備（昨年度より継続）
子どもの主体的な活動を重視し、自分ができること、やってみたいことを進んで取り組める環境を整える。
2. コロナ感染予防
新型コロナウイルス予防のため、手洗い・消毒・必要に応じたマスク着用・3密を避けつつ、心身ともに健康的な園生活を過ごす。
3. 園活動の情報発信および共有化
新型コロナウイルス感染防止対策により様々な方と直接関わり合う機会が少なくなるため、園での活動のねらいや具体的な取り組みを公開し、園と保護者、そして地域の方と一体となって、子ども達の成長を支援できるよう工夫する。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

| 番号 | 取り組み | 具体的な内容と成果 |
|----|----------------|---|
| 1 | 子どもの主体性に根ざした保育 | 昨年から継続して子どもが主体的に活動できる保育を展開した。行事では対話を通じて子ども達の発想や意見を大切に、0・1・2歳児クラスでは「こうしよう」「こうしたい」という気持ちを軸に、幼児クラスではその気持ちから更に「そのためにはどうしたらよいか」「必要な物は何か」など意見を出し合うことにより、創作欲や表現意欲を高めつつ課題を解決しようとする力を育むことを目指した。結果、子どもたちが行事に楽しく取り組む姿が見られ、また、保護者アンケートでは、子どもたちの意欲が高まっていたことが確認できた。 |
| 2 | コロナ感染症対策 | 園内でアルコール消毒液の設置、マスクの確保、行事では参加人数制限や常時換気など実施した。また、万が一に備え園内で感染者が出た場合のマニュアルを策定。皆様のご理解ご協力のもと、園内で感染者がでることはなかった。 |
| 3 | 活動の情報発信 | 保育便りの内容の改訂および見やすいようカラーデータで配信、ブログの配信頻度をあげ、園情報の発信に努めた。作品展では昨年度に引き続き作品展に向けた子ども達の制作活動の様子を写真に撮り、吹き出しコメントを添えたポートフォリオを作成した。作品とともに展示することで製作過程で生まれた子ども達の発見や話し合いの様子を「育ちの場」として捉え、保護者の方々や子ども達と共有した。 作品展当日では、園児がお家の方に作品を紹介する姿などが垣間見えた。 |
| — | 設備改修整備 | 昨年度に引き続きトイレの改修工事および床面工事を実施した。老朽化によるトイレの3K（暗い・汚い・怖い）の改善を行うことで、気持ちよくトイレに行ける環境を整備した。床面は、木目調の滑り止め効果のある長尺シートを使用し、安全面が向上した。 また、経年劣化が進んでいた幼児イスを全て新たに購入し入れ替えを行った。 |

4. 学校評価の具体的な計画の総合的な評価結果

| 結 果 | 理 由 |
|-----------|---------------------------|
| 概ね達成されている | 前述の「3. 評価項目の達成及び取り組み状況」より |

5. 今後の取り組むべき課題

| 課 題 | 具体的な取り組み状況 |
|----------|--|
| コロナ禍での活動 | コロナ禍活動制限がかかる中、「人とのつながり」を大切にする。 保育面では新型コロナに係る最新の医学的情報を基に、情勢に合わせて活動制限を軟化し、子育て支援機能面では園児相談や子育て相談を電話面談で情報共有を図り、必要に応じて感染予防対策のうえ対面面談形式をとる。 |

6. 財務状況

監査法人による財務監査により、適正に運営されていると認められている。

7. 情報公開

本学園ホームページに保育活動や基本的な情報を積極的に公開している。
アドレス… <http://kobe-kanoko/net>

8. 学校関係者の評価

・園の活動で主体的に取り組むことで、家でも自分を表現しようとする姿が見られるようになった。
・今年度は新型コロナ感染予防のため、保護者と園との関わりが限定的なものになったため、写真だけでなく動画でも子供たちの様子を見てみたいと思った。
・保護者から園に意見を伝えるツールとして、れんらくアプリのアンケート機能が便利だと思う。
・保育中に気象警報が発令された時、即時のお迎えが難しかった際どうすればよいか戸惑ったため、園からのお迎え依頼の文面をもう少し考えたほうがよい。